

平成22年度 学校給食における地場産物(岡山県産品)の使用割合 (県教育委員会調査)

1. 平成22年度の状況

	平成22年 6月	平成22年 11月	平成22年 平均
岡山市	41.3%	38.7%	40.0%
倉敷市	59.8%	54.6%	57.2%
津山市	36.9%	31.3%	34.1%
玉野市	45.5%	58.3%	51.9%
笠岡市	48.3%	39.7%	44.0%
井原市	45.9%	47.7%	46.8%
総社市	48.7%	41.7%	45.2%
高梁市	50.2%	57.7%	54.0%
新見市	36.4%	44.8%	40.6%
備前市	47.2%	50.3%	48.8%
瀬戸内市	50.0%	47.9%	49.0%
赤磐市	51.2%	50.3%	50.8%
真庭市	49.0%	49.9%	49.5%
美作市	48.9%	50.1%	49.5%
浅口市	44.9%	38.5%	41.7%
早島町	51.7%	53.4%	52.6%
里庄町	52.1%	39.6%	45.9%
矢掛町	47.1%	53.8%	50.5%
新庄村	48.4%	45.1%	46.8%
鏡野町	43.8%	40.3%	42.1%
勝央町	39.8%	67.8%	53.8%
奈義町	39.7%	51.5%	45.6%
西粟倉村	51.6%	45.0%	48.3%
久米南町	46.1%	45.1%	45.6%
美咲町	48.0%	51.2%	49.6%
吉備中央町	37.1%	30.8%	34.0%
和気町	52.6%	42.2%	47.4%
県立学校平均	47.9%	42.2%	45.1%
岡山県平均	46.8%	46.8%	46.8%

※ 岡山県産品使用割合の算出方法

$$\text{使用割合} = \frac{\text{岡山県産品目数}}{\text{全使用品目数}} \times 100$$

2. 調査結果の概要

・各市町村では、地場産物の活用促進のため、農林部局や農業関係者や生産者団体、流通関係者等のネットワーク体制をつくり、学校給食への地場産物の安定供給に努めたり、計画的な献立作成をしているが、今年度は、4・5月の低温多雨、7月の梅雨明けからは猛暑となり天候不順が続いたため、野菜など農産物も不作で品薄となったため、昨年度を下回っている。

3. 全国との比較

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
県使用割合	25%	27%	36%	41%	45%	48.7%	46.8%
全国使用割合(※)	22%	24%	22.4%	23.3%	23.4%	26.1%	—

※ 全国使用割合は、文部科学省「栄養量等統計調査」によるもの。

4. 参考

○新おかやま夢づくりプラン目標
学校給食における地場産物を使用する割合

平成18年度 実績36%
↓
平成23年度 47%